ちゅうくんと いっしょ

キンダーブック じゅにあ 6月号

表紙の絵から

お気に入りのレイングッズで、雨の日の散歩に来たちゅうくん。かえるさんやかたつむりさんに会えて、うれしそうにうたっていますよ。あじさいの花もきれいに咲いています。雨の日の景色に興味をもてるとよいですね。

パンツ はけたよ

せいかつ 生活習慣に親しもう

ねらい 排泄習慣を身につけ、パンツをはく喜びを感じられるようにしましょう。

「ちゅうくんとみいちゃん、トイレでおしっこしているよ」と話し、便座に座って排泄する姿に注目しましょう。子どもたちに「どんなときにトイレに行くといいかな？」と問いかけてみるのもよいですね。

「ちゅうくんとみいちゃんはどんなパンツをはいているのかな？」と問いかけて、いっしょに見てみましょう。そして、子どもたちに「みんなはどんなパンツがはきたいかな？」「パンツになるとうれしいね」などと話し、パンツをはくことへの期待につなげましょう。

ぽつぽつ あめだよ

おはなし おはなしを楽しもう

ねらい さまざまな雨の音や雨の日の生き物たちの過ごし方を楽しみましょう。

つかい方のヒント 雨音の違いや、生き物のそれぞれの雨宿りのしかたに注目しましょう。「虫さんたちは傘をつかわずに雨宿りしているね」「みんなはどうやって雨宿りしたい？」などと尋ね、想像を広げられるようにしましょう。

まんまる おしり

かんさつ 身近な物をよく見よう

ねらい かばの特徴に気づかせ、興味をもたせましょう。

つかい方のヒント かばのおしりや口などの大きさに注目した後、「ほかにからだが大きな動物はいるかな？」「小さいのはどんな動物かな？」などと問いかけましょう。動物の種類やからだの形に関心をもてるとよいですね。

「キンダーブックじゅにあ」を保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
せいかつ 生活習慣に親しもう 「パンツ はけたよ」	●パンツを着用する。 ●便器で排尿する経験をする。	●パンツへの移行は、子どもがパンツをはきたいという気持ちになれるよう、その子の身体発達、家庭での排泄のようすや家庭の意向などを十分に考慮し、子どもにとって喜びとなるように行う。 ●パンツへ移行した際には、最初は一定の間隔で排泄に誘う。パンツでの生活に慣れてきたら、尿意を感じ自分からトイレに行くことができるように、子どものようすをよく観察しながら声をかける。	健康 言葉
おはなし おはなしを楽しもう 「ぽつぽつ あめだよ」	●雨の音の違いに気づき、生き物たちがどのように雨宿りしているかことばで伝える。 ●雨の日にどのように雨宿りをしたいか想像して話す。	●雨の音の違いに気づけるように問いかけながら、読み聞かせる。 ●生き物たちがどのように雨宿りをしているのか、子どもがじっくりと絵を見て考えられるように、読み聞かせのスピードを調節する。必要に応じてことばを添え、絵からの気づきを促す。 ●自分だったらどのように雨宿りをしたいか、子どもがイメージをふくらませられるように対話をする。	言葉 表現 環境 人間関係